

はたらくことは、生きること。
なりわいカフェ vol. 5

presented by 学生ボランティア支援室
もうひとつの就職セミナー



「働くこと」や「仕事」を もっと自由に もっと気楽に もっと多様に 話せる空間。

ボーダレスなジモトをイキル

Date : 2016.2.10 (Wed)
Time : 13:30~17:00 (Open 13:00)
Place : 国際文化学部 C201教室
Cost : Free

主催
&
問い合わせ

神戸大学学生ボランティア支援室
hq-vol@lab.kobe-u.ac.jp

なりわいカフェ発案のきっかけもなった『なりわいをつくるー人生を盗まれない働き方』著者、なりわい代表の伊藤洋志氏と「ローカルジャーナリスト」というジャーナリストの新たな分野をジモト島根県浜田市で開拓する田中輝美氏との対談!

はたらくことは生きること。

「仕事をつくる」実践者であるお二人が大事にする「はたらくこと」へのこだわりや思いなど、さまざまな切り口から迫ります。

さらに、神戸大学と篠山市が連携した「篠山市地域おこし協力隊」の取り組みについても、神戸大学篠山フィールドステーション元研究員(現島根大学生物資源学部助教)高田晋史氏にもお越しいただき、兵庫県内の最新動向を解説いただきます!



伊藤洋志

1979年生まれ。香川県丸亀市出身。京都大学大学院農学研究科森林科学専攻修士課程修了。「なりわい」代表。大学卒業後ベンチャー企業の立ち上げに参加し、肌荒れで退職。農業関係のライターをしながら2007年より、生活の中から生み出す頭と体が鍛えられる仕事をテーマになりわいづくりを開始。制作したなりわいは10を超える。現在、シェアオフィスの運営、繁忙期に収穫し販売もする「遊撃農家」や「モンゴル武者修行ツアー」の企画運営などのなりわいの傍ら、床張りだけができるセミプロ大工集団「全国床張り協会」といった、なりわいのギルド的団体運営等の活動も行う。著書に『なりわいをつくる』、共著に『フルサトをつくる』(ともに東京書籍)。



田中輝美

ローカルジャーナリスト。1976年生まれ。島根県浜田市出身。山陰中央新報社で記者をしながら、地域で働く喜びに目覚める。琉球新報社との合同企画「環りの海ー竹島と尖閣」で2013年日本新聞協会賞受賞。2014年秋、独立。島根に暮らしながら、地域のことを記録、発信している。日本ジャーナリスト教育センター(JCEJ)運営委員。著書に『地域ではたらく風の人』という新しい選択(ハーベスト出版)、共著に『環りの海』(岩波書店)、『未来を変えた島の学校ー隠岐島前ふるさと再興への挑戦』(同)



高田晋史

1982年生まれ。京都府京都市出身。京都府立大学大学院生命科学研究所博士後期課程修了後、神戸大学大学院農学研究科科学術研究員を経て、2016年より島根大学生物資源学部助教。専門は農業経営学。学生時代は国費留学生として中国に5年滞在し、中国の農村ツーリズムについて研究。神戸大学では篠山フィールドステーションに駐在し、主に篠山市地域おこし協力隊の制度設計やコーディネート業務に従事。2015年には地域おこし協力隊の隊員との共同出資で、カフェや学習塾を運営する合同会社ルーフスを設立し、代表を務める。